

福井県高P連会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
(福井県生活学習館「ユー・アイふくい」内) 平澤 良典



山口大会にて、大会旗の引渡し及び福井大会開催PR（関連記事4頁）

研修会第一部は、講師に小浜市の㈲せいわ箸店顧問(有)商売繁盛応援団団長の木越和夫氏をお迎えし、「学力から人間力へ」～なぜ？因数分解を学ばなければならぬのですか？子ども質問にあなたはどう答えますか？～と題した講演を行いました。木越氏は、年間百五十回の講演をなさっているとのことで、まず、その回数の多さに驚かされました。企

十一月九日(土)、AOSSAの県民ホールにおいて、例年、十月に行われていた「キャリアガイダンス研修会」と十一月に行われていた「研究大会」を兼ねて実施しました。

最初に開会行事が行われ、平澤良典県高P連会長の挨拶の後、小和田和義県教育府企画幹と、西川満県高等学校長協会会长よりご祝辞をいただきました。その後、研修会を行いました。

第一部講演会

お話を合間に「合格祈願箸」「当選祈願箸」「宝くじ当選箸」「縁結び箸」「商売繁盛箸」「夫婦円満箸」等、いろいろな商品や色紙のプレゼントがあり、希望する方の手があちこちからあがっていました。

また、商品開発については、箸はどの家庭にあるものであり、買う気のないお客様をいかに買う気にさせるかが大切なことでした。「箸 자체はかしひには、まさに「目からウロコ」。発想や工夫次第で、思わず欲しくなる「売れる商品」になるのだと、感心しました。一方で、奥様の「子どもに合

業の経営陣に対するご講演も多く、著名な経営者と一緒に講演会をなさつたこともあるそうです。高校生のお孫さんがいらっしゃることで、話しかけておつしやりながらも、「商売繁盛応援団団長」の肩書き通りのパワー溢れる、軽妙で巧みなお話に、引き込まれていきました。

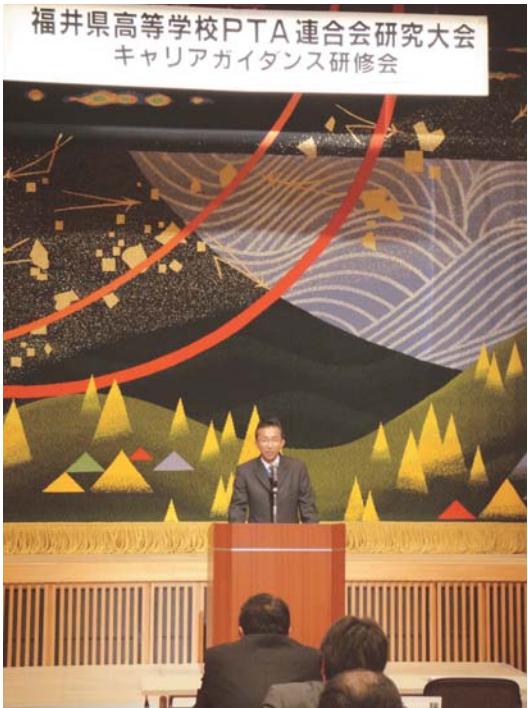
研究大会・ キャリアガイダンス

う箸がない」との言葉から、幼児の手に合う、子どもにとつて使いやすい箸の開発に取り組んだことで、この箸のヒットが現在につながったそうです。営業をされていた時の経験から、「お客様が困っていることを見つけることが営業、何をしたら喜んでもらえるか考えることが大切」とのことでした。

その他、「今の子どもはロボット化しており、言われたことだけやればよいと思っているが、「気づく人間」が必要とされている。「親切にしすぎ、便利にしすぎ、自由にしすぎたので、子どもが弱くなってしまったのではないか」等のご指摘もありました。「どんな人間になりたいのか」、「どんな子どもになつてほしいのか」ということを考えなければならぬ。人間力を高めるには学力が必要であり、「人間力の向上のためには、いくつになつても勉強しなければならない」とのことです。

その後、「なぜ、因数分解を学ばな

い中、他の人の話を聞いたり、年間五十冊以上の本を読んだりして、学び続けていらっしゃるそう



第一部 「トーク笑」

第二部は「トーク笑」と題し、木越氏と六人の出席者との

トークが繰り広げられました。参加者から「企業が求める人材とは何か」、「携帯電話等の普及による高校生のコミュニケーション能力の低下への対応」、「大人の勉強方法」、「就職してもすぐ辞めてしまう若者への対応・対策」、「県外に進学後、就職で戻つてこなかつたり、戻れなかつたりする子どもが多いこと」等についての質疑応答がありました。皆さんのお話を伺いながら、ないことやできないことを嘆くのではなく、今あるもので、何かができるものを工夫し、考えることが大切ではないかと思いました。また、

小和田企画幹も、ご祝辞の中でスマートフォンのラインに関する問題点を指摘していましたが、バーチャルなその場限りのつながりではなく、「挨拶をする」等、基本的なコミュニケーションの大切さを改めて感じました。その意味で家庭の果たす役割は大きいと思いました。



最後に、柿谷好彦県高P連副会長より閉会の挨拶があり、研究大会・研修会は盛会のうちに終了しました。

キャリアガイダンス研修会は、子ども達が進路を考えるに当たり、保護者が果たすべき適切な役割について認識

した。「自身もお忙しい中、他の人の話を聞いたり、年間五十冊以上の本を読んだりして、学び続けていらっしゃるそう

「トーク笑」の出演者	
林 誠	丹南高校PTA会長
橋本 誠	敦賀気比高校父師会会长
清川 忠幸	高志高校PTA会長
中村 豊	奥越明成高校PTA会長
井手有希子	敦賀高校PTA副会長
不破 数恵	藤島高校教諭

(敬称略)



ければならないのか」という子どもの質問にどう答えるかという、「宿題」の発表になりました。人は褒められると動くとのことで、「〇〇さん、評判いいよ!」のかけ声をかけられ、壇上の方々も、緊張されながらも、気持ちよく発言なさっていたようでした。それの方の経験に基づいた個性溢れるお答えに、会場から拍手や笑いもおこる、楽しい時間となりました。出席なさっていた方々も、自分ならどう答えるか、いろいろお考えになりながら、お聞きになつていたのではないかと思ひます。

ければならないのか」という子どもの質問にどう答えるかという、「宿題」の発表になりました。人は褒められると動くとのことで、「〇〇さん、評判いいよ!」のかけ声をかけられ、壇上の方々も、緊張されながらも、気持ちよく発言なさっていたようでした。それの方の経験に基づいた個性溢れるお答えに、会場から拍手や笑いもおこる、楽しい時間となりました。出席なさっていた方々も、自分ならどう答えるか、いろいろお考えになりながら、お聞きになつていたのではないかと思ひます。

最後に、柿谷好彦県高P連副会長より閉会の挨拶があり、研究大会・研修会は盛会のうちに終了しました。

キャリアガイダンス研修会は、子ども達が進路を考えるに当たり、保護者が果たすべき適切な役割について認識

を深め、進路決定や生き方などについての指導性を發揮できるようになつての主旨で行われていますが、子どもだけではなく、親である自分にとつても、「知恵と工夫で、わくわく、生き生き、楽しく生きる」ことについて、いろいろ考え方させられる一日となりました。

「北信越地区高P連研究大会 新潟大会」

たくましく生きる力を育むために、今私たちができること



七月十二日(金)～十三日(土)の二日間にわたり新潟県民会館を会場に、北信越地区各県から千三百名余の会員が集い、本県からも百五十三名が参加して、北信越地区高P連研究大会新潟大会が開催されました。

開会式で、坂井正人大会実行委員長は「われわれPTAの活動の目的は、保護者・学校・地域が連携・協力して、子どもたちが生きる力を育み、夢を実現できるように、環境を整え支援すること。この大会を通して、そのためには自分自身『何ができるのか』『何をするべきなのか』を考えて欲しい」と話さ

れ、三浦啓亨全国高P連副会長は「人間関係が希薄になっている今日、親子で地域の活動に参加することは非常に意義深い。PTAとしての意識を高め、子どもたちを守り育てるという視点での活動が重要」と挨拶されました。

引き続き、PTA活動に功績のあつた三十二名に表彰状が授与され、来賓の方々の祝辞があり開会式は滞りなく終了しました。

開会式後に行われた歓迎アトラクションでは、地元新潟県立新潟中央高等学校の器楽・管弦楽部による「威風堂々第一番」と「レ・ミゼラブルメドレー」の二曲が披露されました。高校生による管弦楽奏は非常に珍しく、迫力ある演奏は大歓声に包まれていました。

その後、四つの分科会に分かれ実践発表や研究討議が行われました。

第一分科会では、長野県野沢北高等学校、福井県立武生商業高等学校、石川県立金沢泉丘高等学校、富山県立伏木高等学校、新潟県立柏崎総合高等学校が実践発表を行い、各校からは、①進路選択についてPTAが生徒を支援したり、卒業OBの講演と共に聴いたり、海外との異文化交流を行うことで、親子共にモチベーションを高めている。②学校の教育活動を支援するPTA活動を行っており、生徒とPTA役員に

より模擬面接やイベントに積極参加している。③職業人講話を開催し専門職となつたきっかけややり甲斐などを学んでいる。④「いつでも参加できるPTA、参加できるときに参加するPTA」を目標に、保護者同士のつながりを強くし先生と保護者が協力してPTA活動の充実を図っている。などの発表があり、生徒を伸ばす関わりに感心させられました。

二日目は、佐渡出身の金作家で、東京藝術大学学長の宮田亮平先生の「夢を探そう／自作を通して」と題した記念講演で幕を開けました。突然二階席から登場して始まつた講演で、先生は常に歩きまわりながら、時には会場の参加者と会話しながらのお話でした。型にはまらなくていい、間違つてもいい、見る位置を変えると違う世界が見える。慣れた右手よりも慣れない左手で絵を描くと、気持ちが集中して心が入ったおもしろい絵が描けるなど、非常にユーモア溢れる内容でした。特に、今の若者に対する創造性の大切さや個の強みなど、大人の関わり方を考えさせられた講演でした。

記念講演後、総務省の方から統計を元にスマートフォンの危険性や安全な使い方についての説明がありました。閉会式では大会宣言を採択し、次年



☆本県の栄えある受賞者

岩尾 勝三	丹生高校PTA会長
岡本 康次	若狭東高校PTA会長
高崎 雄治	武生商業高校PTA会長
田中 敏恵	福井商業高校PTA副会長
中村 潤一	丹南高校PTA会長
平澤 良典	福井農林高校PTA会長
森石 美由貴	(敬称略) 役職は二十四年度

☆本県の分科会発表者

第一分科会	高校教育とPTA
藤本 潤一	羽水高校育成会副会長
森石 美由貴	(敬称略) 役職は二十四年度

【商業教育とPTA】 【多様化・複雑化する進路指導に 対応するため】

第三分科会	生徒指導とPTA
宮本 豊彰	大野高校PTA副会長
井筒 務	敦賀工業高校PTA会長

【親子相互の関係を見つめ直し、 お互いの成長を目指す取り組み】

第四分科会	家庭教育とPTA
井筒 務	敦賀工業高校PTA会長

【学校と家庭が両輪となつた活動を目指して】

この現状の中、オンラインゲームや多人数とコミュニケーションがとれるウェブサイトやSNSの普及により、それらに名前や住所、電話番号、ID、パスワードなどの個人情報を簡単に書き込まざることでサイバー犯罪に巻き込まれるケースが発生し、また、青少年

最初に、『子どもたちをとりまくインターネット環境とネット関連犯罪』と題して、福井県警察本部生活安全公安部山田尉貴氏の基調講演がありました。氏は「近年、インターネット利用者が増えており、携帯電話普及率も年々上昇し、福井県の高校生では約九十%に達しようとしている。携帯電話でのインターネット利用率も九十八%を超えてきている。その利用目的は、小中学生では調べ物やゲームだが、高校生ではメールのほか音楽を聴いたり動画を見たりしている。

このような現状の中、オンラインゲームや多人数とコミュニケーションがとれるウェブサイトやSNSの普及により、それらに名前や住所、電話番号、ID、パスワードなどの個人情報を簡単に書き込まざることでサイバー犯罪に巻き込まれるケースが発生し、また、青少年



年度のPTA指導者嶺南地区研修会が九月七日(土)に三方青年の家において、嶺南地区各校から四十一名が参加して開催されました。

最初に、『子どもたちをとりまくインターネット環境とネット関連犯罪』と題して、福井県警察本部生活安全公安部山田尉貴氏の基調講演がありました。氏は「近年、インターネット利用者が増えており、携帯電話普及率も年々上昇し、福井県の高校生では約九十%に達しようとしている。携帯電話でのインターネット利用率も九十八%を超えてきている。その利用目的は、小中学生では調べ物やゲームだが、高校生ではメールのほか音楽を聴いたり動画を見たりしている。

この現状の中、オンラインゲームや多人数とコミュニケーションがとれるウェブサイトやSNSの普及により、それらに名前や住所、電話番号、ID、パスワードなどの個人情報を簡単に書き込まざることでサイバー犯罪に巻き込まれるケースが発生し、また、青少年

PTA指導者地区別研修会 嶺北・嶺南の一地区で開催

が悪用する犯罪も増えてきている。



対策としては、フィルタリングやウィルスソフトの設定とあわせて、個人情報報を絶対他人に教えない、インターネット情報を鵜呑みにしない、書き込む前によく考えることが重要。ルール・モラルを守つて使用することを親として子どもに十分教えて欲しい」と話されました。

続いて、若狭高校PTA(杉谷光由会長)が、『さあ殻を破つて飛び出そう!!PTA活動つておもしろい!楽しい!そして感動した!!』をテーマに実践発表を行いました。



最初に『思春期の子を持つ親の役割』、高校生の保護者が子供の為にすること、しないこと』と題して、福井

先生による基調講演が行われました。齊藤先生は、芥川龍之介の闇中問答や宮沢賢治の處女公園林を例えにされ、『思春期の子を持つ親の役割は「子供が安心出来る居場所(円満な家庭)」をつくること、子供のサインやシグナルを見逃さないこと、子供が決めた事は応援してやることなどが重要な役割。「突き放し」と「付き話し」は違う。そして何より親は常に子供の居場所にならなければならない』と話されました。また齊藤先生は、自分の趣味のア

行事の数々を発表しました。杉谷会長他六名の副会長等が一丸となつての楽しい発表に参加者も引き込まれてしましました。最後に、若狭高校PTA活動のモットーは「おもしろい!楽しい!そして感動!!」。役員も会員もPTA活動に楽しく参加し、感動すること!



一方、嶺北地区の研修会は、九月十四日(土)に県生活学習館で嶺北地区各校から八十七名が参加して開催されました。

最初に『思春期の子を持つ親の役割』、高校生の保護者が子供の為にすること、しないこと』と題して、福井川正巳氏から『心豊かに育てゝ親の関わりで子供を応援』というテーマで発表がありました。農林高校という特成高校が誕生したことにより生じた数々の課題を学校・PTA・地域が連携して乗り越えたという内容でした。

次に、福井農林高校PTA会長の尾川正巳氏から『心豊かに育てゝ親の関わりで子供を応援』というテーマで発表がありました。農林高校という特性を生かし、「ふれあいトーク」や「福農ならでは講座」そして何より地域の方に大人気である学校で生産した商品を販売する「ふれあいマート」で地域と交流されていて、地域密着型の活動をされています。

二校共、学校・PTA・地域との連携を構築し、活力あるPTA活動を展開されおり、有意義な発表会でした。

イロンがけなどユーモラスな話も織り交ぜて下さり、楽しく、内容の濃い基調講演となりました。

さよと
ぶじゅまーす!

丹南高校

Introduction

十月十八日(金)の午後、丹南高校を訪問しました。校舎内がとても静かなので不思議でしたが、二年生が修学旅行中で、一年生と三年生が遠足の日だとのことでした。

応接室で、林PTA会長と担当の増澤先生からお話を伺いました。

資料として見せていただいたPTA新聞の「荀新だより」という題名が変わっているので、その意味を伺うと、校訓の「荀日新 日日新 又日新」(荀(まこと)に日に新たに、日日新たに、又日に新たなり)から取ったそうです。この校訓の意味は「一日一日とみずからを新しくし、また一日一日と新しくする」ということだそうです。自分の生き方をしっかりと見つめ、人生をひたむきに切り開いていく生徒の育成を目指しています。

丹南高校は、県内で唯一の総合学科単独校として、特色ある教育をしておられます。生徒たちは二年次から



PTAライオンズ就職模擬面接

科目的なかから幅広い選択科目を選択し、将来の職業が印象的でした。



強歩大会

選択を視野に入れつつ、主体的な学習に取り組んでいます。とりわけコンピューターや美術に関する設備等が充実しているそうです。

丹南高校PTAは、総務・進路対策・生徒指導・調査広報・子育ての五つの委員会で組織されています。総務委員会は学校祭のPTAバザーとソフトバレー、ボル大会(鯖江市P連主催)への参加、進路対策委員会は就職希望生徒に対する模擬面接と進路講演会、生徒指導委員会は交通安全街頭指導と鯖江高校との生活指導合同学習会、調査広報委員会は広報紙「荀新だより」の発行(年二回)と必要に応じて保護者・生徒のアンケート調査等、子育て委員会は花壇づくりとPTAバザーやソフトバレーへの参加協力、というように幅広い活動をされています。この他にも、強歩大会の際、チェックポイントでの給茶や声かけも行っているそうです。

全体として、PTA組織がしっかりと定着しており、生徒への援助を主たる目的として、先生方や地域の方々との良好な関係を築きつつ、活動されていると感じました。



研修旅行大学訪問

名勝「氣比の松原」近くの敦賀高校に秋も深まり潮風が心地よい小春日和の日に訪問しました。今年で創立百七年の歴史と伝統のある敦賀高校は、普通科・商業科・情報経理科があり、「文武両道」を目指し、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。九割の生徒が市内から進学してくるのですが、嶺北や県外からも是非敦賀高校で、勉強や部活動を頑張りたいと進学してくる生徒もいるそうです。

敦賀高校では、PTAには、総務・進路・健全育成・母親の四つの委員会があります。総務委員会では、PTA便りの発行と、研修旅行の企画のほかに、「三校合同レクリエーション大会」を運営され、われわれ敦賀工業高校チームもお世話になっています。毎年、敦賀工業・敦賀気比・敦賀の三校で親睦を兼ねた、ソフトバレー・ボル大会を実施していますが、今年から、美方高校も仲間入りし「四校合同」となりました。和気藹々としたムードの中、親睦も一層深まり、楽しい一日を過ごしました。

進路委員会では、進路講演会のほか

敦賀高校

Introduction

この企画は、調査広報委員が直接「ちょっとおじゃま」し、伺った話の中から委員独自の感性でこれはと思われるものを紹介していくものです。

敦賀高校

Introduction

名勝「氣比の松原」近くの敦賀高校に秋も深まり潮風が心地よい小春日和の日に訪問しました。今年で創立百七年の歴史と伝統のある敦賀高校は、普通科・商業科・情報経理科があり、「文武両道」を目指し、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。九割の生徒が市内から進学してくるのですが、嶺北や県外からも是非敦賀高校で、勉強や部活動を頑張りたいと進学してくる生徒もいるそうです。

敦賀高校では、PTAには、総務・進路・健全育成・母親の四つの委員会があります。総務委員会では、PTA便りの発行と、研修旅行の企画のほかに、「三校合同レクリエーション大会」を運営され、われわれ敦賀工業高校チームもお世話になっています。毎年、敦賀工業・敦賀気比・敦賀の三校で親睦を兼ねた、ソフトバレー・ボル大会を実施していますが、今年から、美方高校も仲間入りし「四校合同」となりました。和気藹々としたムードの中、親睦も一層深まり、楽しい一日を過ごしました。

進路委員会では、進路講演会のほか



健康教室歩き方教室

母親の熱い思いが伝わる。母親の胸につけながら感極まっている方もいるそうです。母親の愛情を胸に巣立つて行く生徒たちは幸せだと感じました。いろいろなPTA活動のお話を伺い、いろいろなPTA活動のお話を伺い、生徒がよりよく自己実現できる環境や情報を提供し、学校と保護者が連携し、愛情を持つて生徒をバックアップしていくことが大切なことだと思いました。

(取材 敦賀工業高校PTA会長 井筒 勝)

県教育長との懇談会

十月三十日(水)県庁六階大會議室にて、県教委からは林教育長以下七名、当連合会からは平澤会長以下十名の役員と八名の単P会長が参加して、懇談会が開催されました。

懇談の内容は、①高等学校再編整備の進め方について ②教職員を取り巻く環境整備と教育予算の拡充について ③高校生の問題行動を無くすための取り組みについて ④福井県の目指す高校教育について ⑤平成二十六年全国高P連福井大会開催に対する協力・支援についてでした。①から④について懇談の内容をいくつか紹介したいと思います。

①については、県内で最初に再編が行われた奥越地区の奥越明成高校に関しては、難関資格の合格率や就職内定率の向上、部活動の活発化など一定の評価ができるのではないか。来年四月に誕生する坂井高校については、開校に向け、校舎等の改修・建設等にスピーデ感を持つて取り組んでいる。また、地域との連携を密にし、学校として地域元に貢献できる人材育成に努めていきたい。今後の再編については、それぞれの学校の特色を考えながら、長期的スパンで検討していく。高志高校に導入される「併設型中高一貫教育」については、教育の選択肢を広げ、中

ながら、遜色のないよう努めている。文化活動も重視し、文化部に対する支援も色々と行っているとのことでした。

③については、「いじめ防止対策推進法」が成立したのを受け、県ではPTA代表等にも加わってもらいたいながら、基本指針の作成に着手している。それに基づいて、年度内に各学校でも議論してもらう予定である。スマホ利用による様々な問題の発生には危機感を持つている。ネット依存を断ち切るために、一年生の初期にスマホ以外に興味を向けさせるような取り組みを考えている。家庭でも、子どもと本気で向かい合い、話し合つてほしいとのことでした。

④については、福井の教育は全国的に高い評価をいただいているが、能力ある子どもたちの力をどう活かしていく

URLは、fukuitaikai.com/です。是非一度ご覧になつてください。そして、「このようなものを受け加えた方がよいのではないか。」等、ご意見をお聞かせください。

高校生オーストラリア研修 十五名が参加

今年で十二回目となつた当連合会主催の「福井県高校生オーストラリア生活体験研修」は、県内八校から十五名の生徒が参加して、八月二日（金）から十六日（金）までの十五日間、クイーンズランド州ブリスベン郊外で実施されました。ホームステイをしながら地元の学校に通い、日本とは違う生活習慣や文化に直接触れ、多くのことを学び、

来年の八月二十一日(木)～二十二日(金)に開催される第六十四回全国高等学校PTA連合会大会福井大会のホームページが開設されました。大会要項や詳しい日程、会場付近の地図等のほかに、今年の山口大会閉会式で放映した福井大会イメージムービーも見るこ

福井大会のホームページ開設

INFORMATION

体験したものだと思います。また、あらためて日本を見つめなおす機会になつたのではと思います。

その「報告書」が十一月下旬に完成し、各学校へ送付しました。参加した生徒が自由に、それぞれの思い出を語っています。興味・関心のある方は是非学校の方へお尋ねください。



くのか、将来に対する夢や希望を持つこと等がこれから課題である。そのために、県内外で活躍している先輩の活用や東京大学と研究を進めている「希望学」の成果を教育の中に取り入れられないか議論している。グローバルなツールである英語教育に力を入れ

福井のことを英語で紹介できるようなオリジナルテキストを作成し、各校で使用している。また、県では今年の九月から、小学四年生の英語活動を開始し、早い段階から英語に慣れるようにしているとのことでした。

高校生総合保障制度

（昨年度の事故受付状況と保険金請求手続について）

二〇一三年も終わりに近づき、高校生総合保障制度につきましても、数多くのご請求やさまざまなお問い合わせが保護者の皆様から当事務局へ寄せられております。今回は昨年度の事故受付状況と保険金請求手続についてご案内いたします。

一、事故受付状況について

二〇一三年九月までの事故受付状況ですが、事故件数は二二六件ご請求をいただきました。件数の内訳ですが、後遺障害保険金といった重大な事故での保険金請求は三件ございました。事故の内容ですが、最も多いのはスポーツ中の事故となつております。自転車運転中の事故となつております。この保障制度ではケガ以外に第三者への賠償事故も対象となつておりますが、今年度は十四件報告されております。自転車に乗つていて歩行者や他の自転車と接触しケガをさせてしまうケースや、学校内の窓ガラスなど備品の破損が多く、また、誤って友人の持ち物を壊してしまつたり、場合によつては人に怪我を負わせてしまふケースさえあります。もちろん故意に行つたものではありませんが、保険があるという事で役立つていいです。

最後に、ケガだけでなく病気の入院を補償するプランに加入されている方もいらっしゃいますが、昨年度は九件のご請求がございました。疾病的内容は熱中症やヘルニア、急性胃腸炎などで入院され、ご請求をいたしております。昨今の医療費の増加傾向はご存知の通りです。今後は病気も含めた補償もお子様の為にお考え頂ければよりご安心かと思います。

二、保険金の請求方法について

△ケガをした場合

①事故の連絡先（フリーダイヤル **0120-0300-399** : 二十四時間受付）まで事故の状況につきましてご連絡ください。必要書類等につきましてご案内いたします。

②ケガによる入院が終わつた後、傷害保険金請求書に必要事項を記入の上、保護者の署名捺印をして、指定の宛先までご郵送ください。その際、診察券、治療費領収証（いずれもコピー可）を添付していただければ診断書は不要です。（但し、重大事故の場合には別途診断書をご手配いただくこともあります。）

△賠償事故の場合

お手元の加入者証記載の事故連絡先（フリーダイヤル **0120-0300-399** : 二十四時間受付）までお電話ください。担当者より手続方法をご案内いたします。

△病気の場合

病気も補償されるプランに加入されている方で保険金請求をされる場合も上記フリーダイヤルにご連絡ください。お手続きについて別途、案内させていただきます。

1. 概要

- (1)傷害補償：加入した高校生の3年間、1日中24時間のケガや万一の場合について補償されます。※Sプランについては病気補償もされます。
- (2)賠償責任：高校生があやまって他人にケガをさせたり、他人の物を壊したときの法律上の賠償責任が補償されます。
- (3)加入了した高校生だけでなく、同居の家族全員が利用できる「医療・健康相談」制度があります。（通話料無料）
- (4)この制度は、主として新入生を対象としています。

2. 内容（Sは病気補償+地震補償、Aは地震補償付き）

補 償 内 容	病気補償+地震補償		地 震 补 償		自転車重点補償				
	S プラン	A プラン	B プラン	C プラン					
①個人賠償責任補償 (一事故あたりの支払限度額)	(最高) 5,000 万円	(最高) 3,000 万円	(最高) 3,000 万円	(最高) 3,000 万円					
②育英費用補償	(一時金) 100 万円	(一時金) 100 万円	(一時金) 100 万円	(一時金) 100 万円					
③学校管理下動産補償 (自己負担額1,000円)	契約年度毎に 最高 5 万円	契約年度毎に 最高 5 万円	契約年度毎に 最高 5 万円	契約年度毎に 最高 5 万円					
④自転車事故による 傷害(ケガ)の補償	死亡保険金額	610.1 万円 (475.5万円)	584.2 万円 (462.6万円)	572.1 万円 (459.7万円)	519.2 万円 (429.7万円)				
	後遺障害保険金 (障害の程度によって)	約 18.3 万円～ 610.1 万円 (約14.2万円～475.5万円)	約 17.5 万円～ 584.2 万円 (約13.8万円～462.6万円)	約 17.1 万円～ 572.1 万円 (約13.7万円～459.7万円)	約 15.5 万円～ 519.2 万円 (約12.8万円～429.7万円)				
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.5・3・6 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	補償しません				
	入院保険金日額 (180日限度)	6,100 円	5,900 円	5,500 円	4,000 円				
	通院保険金日額 (90日限度)	3,400 円	3,200 円	3,000 円	2,000 円				
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高 50 万円	最高 50 万円	補償しません					
	死亡保険金	230.1 万円 (167.5万円)	204.2 万円 (154.6万円)	192.1 万円 (151.7万円)	139.2 万円 (121.7万円)				
⑤自転車事故以外の 傷害(ケガ)の補償	後遺障害保険金 (障害の程度によって)	約 6.9 万円～ 230.1 万円 (約5.0万円～167.5万円)	約 6.1 万円～ 204.2 万円 (約4.6万円～154.6万円)	約 5.7 万円～ 192.1 万円 (約4.5万円～151.7万円)	約 4.1 万円～ 139.2 万円 (約3.6万円～121.7万円)				
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.5・3・6 万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	補償しません				
	入院保険金日額 (180日限度)	2,100 円	1,900 円	1,500 円					
	通院保険金日額 (90日限度)	1,400 円	1,200 円	1,000 円					
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高 50 万円	最高 50 万円	補償しません					
	⑦細菌性食中毒補償	補償します							
	⑧熱中症補償	補償します							
⑨地震・噴火・津波補償	⑨地震・噴火・津波補償	上記②⑤⑥の内容で補償します							
	疾病入院医療保険金日額 (1泊2日以上の入院・60日限度)	2,000 円	補償しません						
	疾病手術医療保険金 (所定の手術の種類により)	2・4・8 万円							
	疾病入院療養一時金 (60日以上の入院が必要と診断された場合)	20 万円							
	24時間医療健康電話相談	あり	あり	あり	あり				
	制 度 掛 金 (3年間一括)	35,000 円	28,000 円	20,000 円	10,000 円				

制度掛金には制度運営費140円を含みます。上記保険金額・掛け金制度は、加入者1,000名以上の場合は1,000名未満の場合は保険金額が変更になります。詳しくはパンフレットにてご確認ください。

● お問い合わせ先・連絡先 ● 福井県高等学校PTA連合会「高校生総合保障制度」事務局

〒910-0006 福井市中央3-3-23 北陸中央ビル5階 AIU保険会社内 TEL 0776(28)0144(月～金、9:00～17:00)

引受保険会社/AIU保険会社(幹事)・あいおいニッセイ同和損害保険株・株損害保険ジャパン・三井住友海上火災保険株